



# 嘉川地域づくり協議会だより

第9号

平成26年9月1日

発行：嘉川自治連合会  
嘉川地域づくり協議会  
編集：自治連社会部会

〒754-0897 山口市嘉川 4651-1 山口市嘉川地域交流センター TEL：083-989-2018

## 地域づくりのバトンをつないで

### よき人間関係は 明るいあいさつから

協議会長 松崎 恒雄



今年度から  
佐光邦靖前会  
長の後任とし  
て会長を引き  
受けることに

なりました。私が適任かどうかについて自分でも疑問に思うこともありすが、役員の方々、地域の皆様のご指導、ご協力、ご支援を得ながらこれまで佐光前会長が進めてこられた「安心して安全に暮らせる嘉川のまちづくり」を引き継いでいきたいと思っています。

私がまずやりたいことは、あいさつ運動を中心として、お互いに認め合い、励まし合い、支え合い、協力し合い、ときには競い合っているよき人間関係を築くことです。幸い、これまであいさつ運動は嘉川地域でも進めてきましたし、また川西地区の嘉川小、興進小、佐山小、川西中の4校では、「あいさつ」と「掃除」を共通の生活課題として取り組んでおられます。実際に、児童、生徒の皆さんは私たち地域の大人にも笑顔で、明るく、元気なあいさつをしてくれており、とてもすがすがしい気持ちになりますし、元気をもらったような気持ちになります。大人で

ある私達も子ども達に負けないあいさつができるようになりたいものです。よき人間関係をつくる、第一歩であるあいさつが、家族の中で、近所の人同士で、地域の人同士でもっともっと広がっていくことを願っていますし、私もこれから率先してやりたいと思っています。

また安全という面で、犯罪や交通事故がないように、風水害や高潮等の自然災害が起こっても人的被害がないよう努力していきたいと思っています。

### 退任のびあいさつ

前会長 佐光 邦靖



65歳で現役を終え、ふるさと嘉川に帰ってから丁度20年になる。

先づ自治会長を仰せつかり、自治会館を建設、ついで嘉川自治連合会(當時は建設振興会)の役員を命じられた。地域の事情に明るくなり、隣近所はもとより知り合いが増えて、案外元気が貰えるのではないだろうかと考えて、以来本年まで17年間の役割をこの程やうと終えることができた。

最近学んだ中に「行至水窮処」の一行詩がある。行きて至る。水の窮まるどころ―つまり、『水が最後に行き着

くところを見極める』と云う。たいしたことでも成し得ていないが、ことの勘どころを得て、なんとか水の落着くことを掴むことができたのは、望外の喜びであった。

その間、嘉川の皆様や、とりわけ役員の皆様には格別のご支援ご協力を賜り深く感謝をいたすところである。

一人ですべてやるのはリーダーとは云えない。廻りを巻き込んで皆でやることがリーダーとして最も涵養であることも学んだ。

嘉川のさらなる発展を祈念して退任のごあいさつといたします。

### びあいさつ

嘉川地域交流センター所長 上田 泰裕



皆様方には、平素から嘉川地域の発展のために格別のためを賜り、御尽力を賜り、

この場をお借りし、厚くお礼申し上げます。

また、地域住民の健康、福祉、生涯学習のみならず、まちづくりや地区活性化など多岐に渡る献身的な活動に心より敬意を表しますとともに協働のまちづくりに一層のお力添えを賜りますようお願いを申し上げます。

今後とも地域交流センター職員一同、地域の皆様のお役に立てるよう頑張つて参りますのでよろしくお願いいたします。

# 平成二十六年各部署の活動計画

## 里山のにぎわいづくり

自治部会長 竹本 憲治郎

人口の減少、高齢化、少子化は地域に大きな変化を及ぼし、深刻な地域課題の一つとなっています。嘉川は、海も山もあり、自然環境に恵まれた地域で、山側には、東本郷、西本郷などの里山があります。

しかし、この里山もかつては、活発な農村地域でしたが、人口の減少や高齢化が進み、現在、里山としての存続にも不安を覚える状況となっています。

そこで、本年度、東本郷地区で地元自治会



東本郷地区

が中心となって里山の存続やふれあいづくりを図るために「いきいき・ふれあい・いこいの広場」を造ることにしました。

この広場は、地域の荒廃した農地を改良して、桃や梅などの花木を植え、菜の花畑等をつくります。そして次第に羊や山羊の動物広場も造成して地元里山の住民と嘉川の地域住民との交流、ふれあいを高め、里山のにぎわいを取り戻そうとするものです。

現在造成に取り掛かっており、来年3月には花に囲まれた広場でイベントも企画していきますので、皆様方のご参加、ご活用をお願いします。

## 心豊かな安心・安全で 住みよい地域づくりを目指して

社会部会長 伊藤 篤紀

嘉川地域づくり協議会では今年も重点事業の一つとして、「あいさつ運動」を推進しています。「あいさつ」は家庭、学校、地域社会でとても大切な基本的事項です。

「あいさつ・声かけ」がきっかけで会話がはずみ、これまで知らなかった地域の人たちとのつながりや絆が深まったりもします。昨年、「あいさつ運動推進地域」の職を各自自治会、小、中学校などの協力を得て設置しました。

地域の隅々までこの運動の趣旨が浸透することを願っています。また、山口国体を契機に地区全域を対象とした環境美化活動「花いっぱい運動」は継続事業として支援します。

平成22年度より、5年計画で実施してきた「郷土学習と遺跡・史跡の顕彰と整備事業」は地域の皆さんが気軽に現地を巡れるように作成した「遺跡・史跡ルートマップ」を、今年度編纂の小冊子が出来次第、各戸に配布する予定です。

嘉川地域は、新山口駅に近く交通至便で、豊かな自然にも恵まれています。地域は広く多様で、少子・高齢化問題や地域活性化対策など、多くの課題も抱えています。

これらの課題解決や地域づくりには、地域の連帯感を深め、協働意識をより醸成することなどが重要です。今後共、地域の皆様方のご協力をよろしく願います。

## 環境美化運動(地域内清掃) と環境学習について

生活環境部会長 末岡 茂美

嘉川の環境美化運動の一環として、毎年実施しています2号線バイパスの大原インター、岡屋インター、今坂駐車場の清掃を11月30日(日)に予定しています。39自治会より若者男女のボランティア、川西中学生のボランティア組織「きずな」のみなさん、運動部員の方々の300名を予定しています。

また勉強会として、清掃工場、リサイクル

プラザ、不燃物中間処理センターの見学を予定しています。ただ施設の見学をするのではなく環境汚染防止としてなぜ燃えるごみを減らさなければならぬか、なぜプラザごみを分別するのか等々を勉強するのが目的です。実施する際は「センターだより」でご案内する予定です。ぜひご参加ください。

## 建設事業計画

建設振興部会長 武田 英一郎

一 市道の道路改良事業は、二路線が採択されました。

・赤坂一号線の拡幅改良事業は工事に着手することになりました。

・唐樋原条西線の拡幅改良事業は、圃場整備関連事業であるため、圃場整備が完了した今年度から事業に着手することになりました。

唐樋側が工事に着手し、原条西側が測量設計に着手することになりました。

二 法定外公物等整備事業は、今年度は6月に一回目の締め切りを行った結果、道路の6件の申請がありましたので、これから審査した後に採択される予定です。

三 県管理河川の河川浚渫を要望していきます。

堆積土砂などを取り除き、河川本来の機能を回復するよう要望します。要望は今津川と、幸の江川の二河川を行います。



東本郷地区道路改良事業

## 高齢者等の支援活動について

健康福祉部会長 原田 幸政

今年度より初めて自治連合会の役を引き受けることとなりました。なにしろ無経験のためご迷惑をお掛けすることが多々あると思いますが、よろしくお願ひします。

さて、今年度の活動方針は前任者の部会長さんの原案を大切にしながら、また社会福祉協議会との連携を密にし、重複する部門と健康福祉部独自の活動部門のすみ分けをする必要があると考えています。活動方針は次の通りです。

### ① 小地区見守り活動

一人暮らしの高齢者、高齢者だけの世帯の方のほか、学童や園児、認知症とおもわれる方等にも自治会内で声をかけをする。

② ボランティア活動組織の活性化と後継者づくり

活動組織のきずな・みおつくしの会等の行事に積極的に参加すると共に広報活動にも協力する。

### ③ いきいきサロン事業の推進

金銭的援助のほか、出前いきいきサロンを「いきいきサロン登録ボランティア」の方の協力のもと、多くの場所で行う。

### ④ その他

高齢者の方が健康を維持出来る研修会の実施や嘉川地域内の他の組織との連携をもとにして災害時の対応と災害ボランティアの講習会を開催する。

以上のことを健康福祉部の皆さんと力を合わせて少しでも実践出来たらと思っています。



ボランティア組織「きずな」の清掃活動

## 地域づくり活動事業 平成25年度決算 及び 26年度予算

## ◆収入の部

単位:円

費 目	H25決算	備 考	H26予算
交付金及び助成金	11,418,517	山口市地域づくり交付金	12,677,000
	1,024,360	社会福祉協議会、センター活動推進費からの人件費	1,024,360
	812	預金利息	640
合 計	12,443,689		13,702,000

## ◆支出の部

単位:円

費 目	H25決算	備 考	H26予算
協議会運営	4,281,721	事務局人件費、事務費	4,397,000
地域振興	1,223,860	地域づくり協議会広報(年2回)	2,120,000
		あいさつ運動の推進	
		郷土学習と遺跡・史跡の顕彰と整備	
		食生活改善と推進	
		登山コース、ハイキングコースの標示と整備	
		盆踊り	
地域福祉	440,161	見守りグループ活動	395,000
		生き生きサロン活動の充実	
		子育て支援組織活動と支援	
		高齢者活動の推進	
		生涯スポーツの推進	
		福祉活動計画見直しと重点計画	
		ボランティア活動の研修と推進	
安心・安全	819,038	反射鏡設置事業	955,000
		高齢者ドライバー1日ドック	
		児童、生徒登下校時の安全確保	
		地域防災活動	
環境づくり	5,343,899	土木工事	5,410,000
		地域環境美化活動の推進	
		花いっぱい運動の推進	
		桜公園の建設推進	
地域個性創出	335,010	子どもと高齢者世代間交流事業の推進	425,000
		子どもと高齢者世代間交流による昔話の伝承	
		地域産品創出事業	
		古記録・古行事・古写真の収集並びに編集	
合 計	12,443,689		13,702,000

テーマ

ふるさと嘉川への私の想い

私の故郷嘉川

小池 すが美(ドイツ在住)

日本を離れて35年、ドイツからの里帰りの度にいつも思うことは、海や山に恵まれた嘉川はとても美しく平和な所だということです。

私は実家では毎日、犬と裏山の散歩道を一周します。とても手入れが行き届き、ゴミ一つなく、故郷を大切にされているのがよく分かります。また、植物の種類の多さには驚かされます。

ただ、川を見ると少し残念な気持ちになります。私の住んでいるドイツの町の川には鱒が泳いでいます。実家の周辺では下水道が整備されており、嬉し



アルテンバーケンにある鉄道橋

く思います。これによって、幼い頃に見かけていた魚が戻ってくれることを願っています。

さて、ドイツには私も含めて、たくさんの方々が住んでいます。留学生はもちろん南欧からの出稼ぎの人々、故郷を追われた戦争難民、亡命者等と数え切れません。日本は島国ですが、ドイツは陸続きで簡単に車で出入りが出来ますので、そういった方々を身近に感じて生活しています。

最近では嘉川にも外国人がいらつしやるそうですが、接する機会があれば是非、グローバルな気持ちで話しかけてください。その方々が本国に帰られた時、自然に囲まれた嘉川が良い思い出として残りますようにと想いを込めて。

熊野神社夏の大会に参加して

大屋 敦子(下高根)

娘の小学校入学とともに下高根に来て早くも6年目となりました。地域の皆さんに温かく迎えていただき、充実した毎日を過ごしています。

先日7月12、13日は、地域の鎮守である熊野神社の夏の大会「幸神祭」があり、お手伝いをさせて頂きました。熊野神社には、



一年を通して、地神祭、春の大祭、植付神楽、夏の大祭、大歳祭という多くの祭典があり、これらを高根地区(上組、中組、下組、空組)の皆さんの手によって、昔から守り伝えてこられたようです。今回は夏

の大祭。前日は、境内に幕を張り、幟を立て、掃除をしたあと、前夜祭を行いました。いよいよ当日。まずは境内にて宮司さんによる御神事を行い、御所車に神輿を乗せて、太鼓を鳴らしながら御旅所まで歩きました。帰りには御米を街道沿いにおられる方におわけしました。その後に行われた直会では、宮司さんを囲み、お酒を酌み交わしながら、世代を越えて皆さんと楽しい時間を過ごしました。ご近所同士が助け合い、支え合いながら地域の伝統を守っていく姿に頭が下がる思いです。今回少しそのお手伝いをさせて頂いたので、よい経験となりました。

## 青少協の活動について

嘉川地区青少年健全育成協議会長 市原 正彦

嘉川地区青少年健全育成協議会（青少協）は、嘉川地域の青少年育成、指導に関係する諸団体の代表者と青少年指導員、主任児童委員など約50名の委員により組織されています。

青少協の主な活動は、小学校4～6年生を対象とした夏休み期間中のふるさと学習（陶芸、手芸、工作、料理などの体験学習講座と体験学習バス旅行）、11月の三世代交流ふれあいウォーキング、地域の方々にも声掛けしている研修（講演）



## 秋の大運動会は緑のグラウンドで

編集部

去る6月20日（金）嘉川小学校芝生の会会長金光弘成さん主導で、全校児童158名と教師、保護者、地域住民約70名の参加のもとグラウンドに芝生を植えました。

約4千平方メートルのグラウンドに約1万6千個のポット苗を50センチ間隔で植えていくのですが、子ども達は



会（2月頃）などがあります。

これらの活動は、婦人会、老人クラブ、食生活改善推進協議会、遊陶会、嘉子連、昭和会をはじめ、多くの方々に実質的に動いていただいで成り立っています。

もちろん、交流センターの方々の支援も忘れることはできません。

また、嘉川地域には、嘉川子育て支援連絡組織「みらい」や嘉川読書クラブなど、

自分達のグラウンドに植えるということもあつてが、どの子も率先して楽しんでうちに植え付け、あつという間の約一時間余りで終了しました。植え付け後の管理は「芝生の会」の方々が行う学校施設としては県内初の自動かん水装置（散水スプリンクラー）が12か所に設置され、夜間に自動的に散水されるそうです。

ちなみに山口市の児童の身長や体重は、全国の平均を下回る年が続いており、怪我を気にせず大いに芝生の上を走り回り、体力の向上を図って欲しいとか。嘉川小学校は、市内初の芝生化モデル校として、同じく指定された名田島小学校と共にその成果が注目されています。

9月の大運動会は、緑の芝生の上での子ども達の活躍が楽しみです。

子どもたちの成長支援に、先進的かつ精力的に取り組まれている方々がたくさんいらっしゃいます。こうした方々の努力の積み重ねによって、今の嘉川があるのだと、頭が下がる思いでいっぱいです。今後とも、青少協の活動にご支援、ご協力をよろしく願います。

## 今年も嘉川産のお米で美味しいお酒を!!

編集部

6月15日嘉川地区の田んぼで地域の子どもや大人達約100人が酒米の苗を植えた。

10月に稲刈り、11月から「金光酒造」で酒の仕込み、来年2月に新酒の発表会が予定されている。無事に嘉川のお酒「嘉穂の郷」となるよう、まずは稲の順調な発育を祈ろう!



## 編集後記

協議会では、嘉川地区発展のため永年ご尽力いただいた佐光会長をはじめ3人の方が今般勇退され、新会長の下、団塊世代のメンバーが加わりました。

良いものを残しつつ、新しい発想を取り組みで行われる事業をできるだけ丁寧にお伝えしたいと思います。